

# 資料編

## 県民アンケート等の結果

- 1 県民選好度調査
- 2 県民アンケート調査
- 3 高校生アンケート調査
- 4 大学生アンケート調査

## 総合計画策定体制

- 1 群馬県総合計画に関する特別委員会
- 2 群馬県総合計画策定懇談会
- 3 群馬県総合計画策定地域懇談会
- 4 群馬県新総合計画策定のための有識者意見交換
- 5 群馬県企画会議

## 策定経過

## 用語解説



# 県民アンケート等の結果

## 1 県民選好度調査

### 調査の目的

県民の意識（満足度、重要度等）などを把握し、今後の県政に反映させていくことを目的に実施

### 調査対象者および調査方法等

調査対象者：県内に在住する満20歳以上の男女2,000人

抽出方法：住民基本台帳からの等間隔無作為抽出（10圏域から200人ずつ）

調査実施方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：平成21年1月16日（金）～2月2日（月）

### 回収結果

回収数（有効回収数）：1,075（回収率：53.8%）

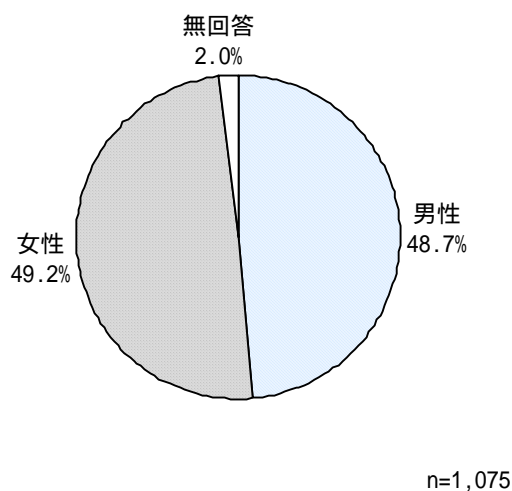
### 調査項目

- ・ 8分野36項目に対する満足度・重要度 5段階から選択
- ・ 8分野のうち、特に力を入れて欲しい分野 第1位～第3位を選択
- ・ 居住地のイメージと定住意向
- ・ 行動範囲：通勤先・通学先、買い物先、医療機関の利用先、余暇施設の利用先、文化施設の利用先、スポーツ施設の利用先等

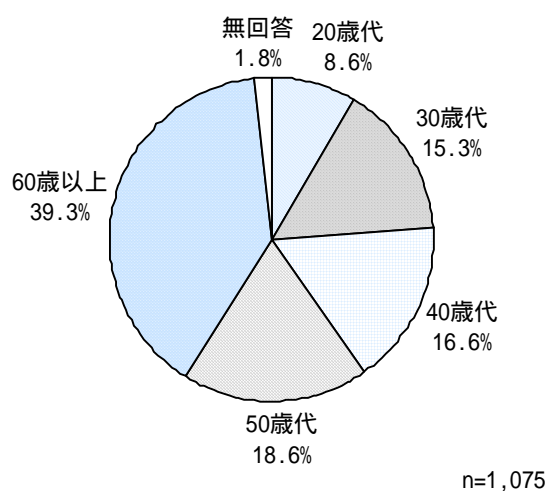
### 【主な調査結果】

#### （1）回答者属性

##### 性別



##### 年齢別



(2) 施策に対する満足・不満足の状態、重要度に関する意識

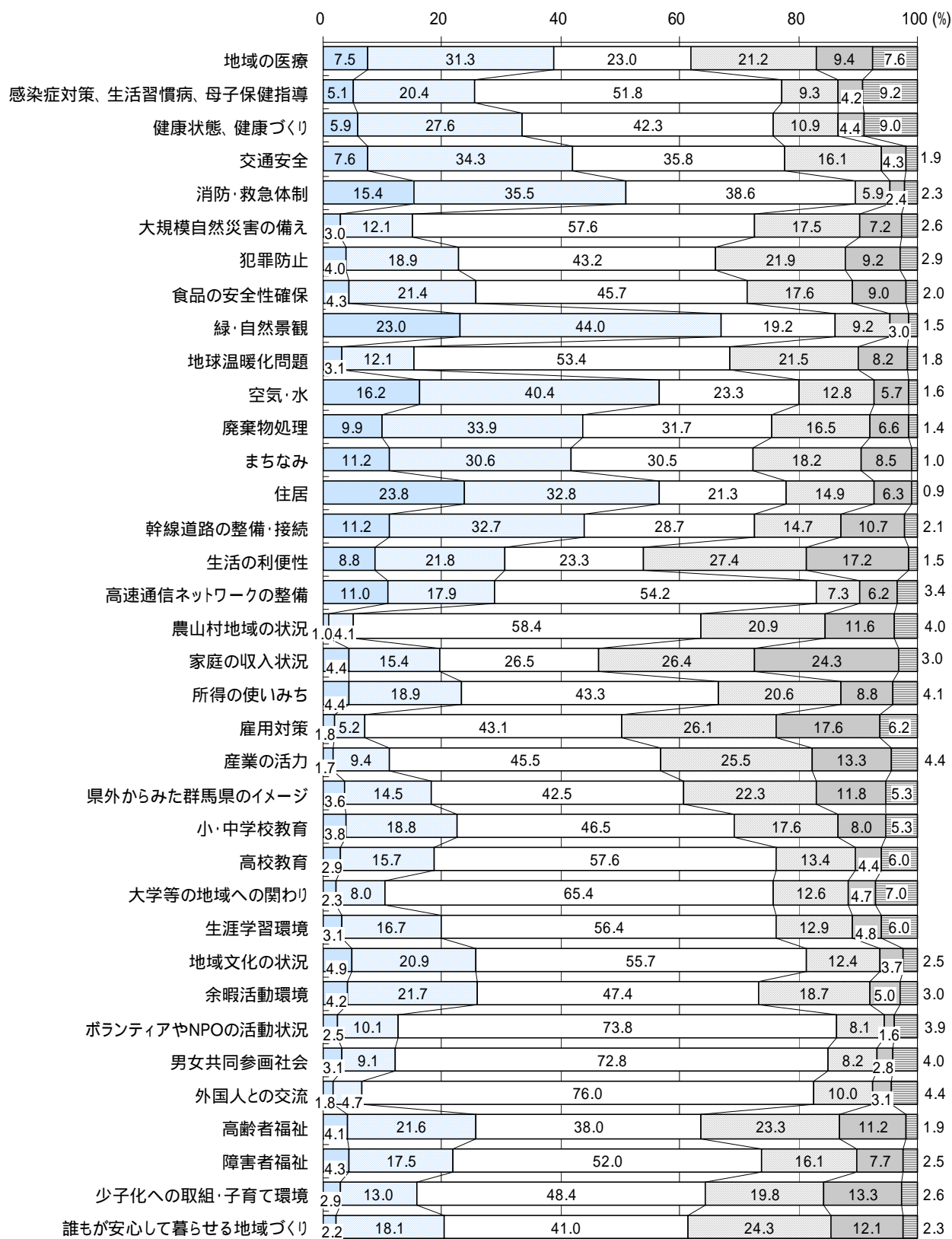
下表に掲げる県民生活に関連する8つの分野、36項目の施策に関する満足・不満足、重要度について聞きました。

満足・不満足については「満足」「やや満足」「どちらともいえない」「やや不満」「不満」の5つの選択肢により、また、重要度については「とても重要」「やや重要」「どちらともいえない」「重要ではない」「まったく重要ではない」の5つの選択肢から選んでもらいました。

【8分野36項目】

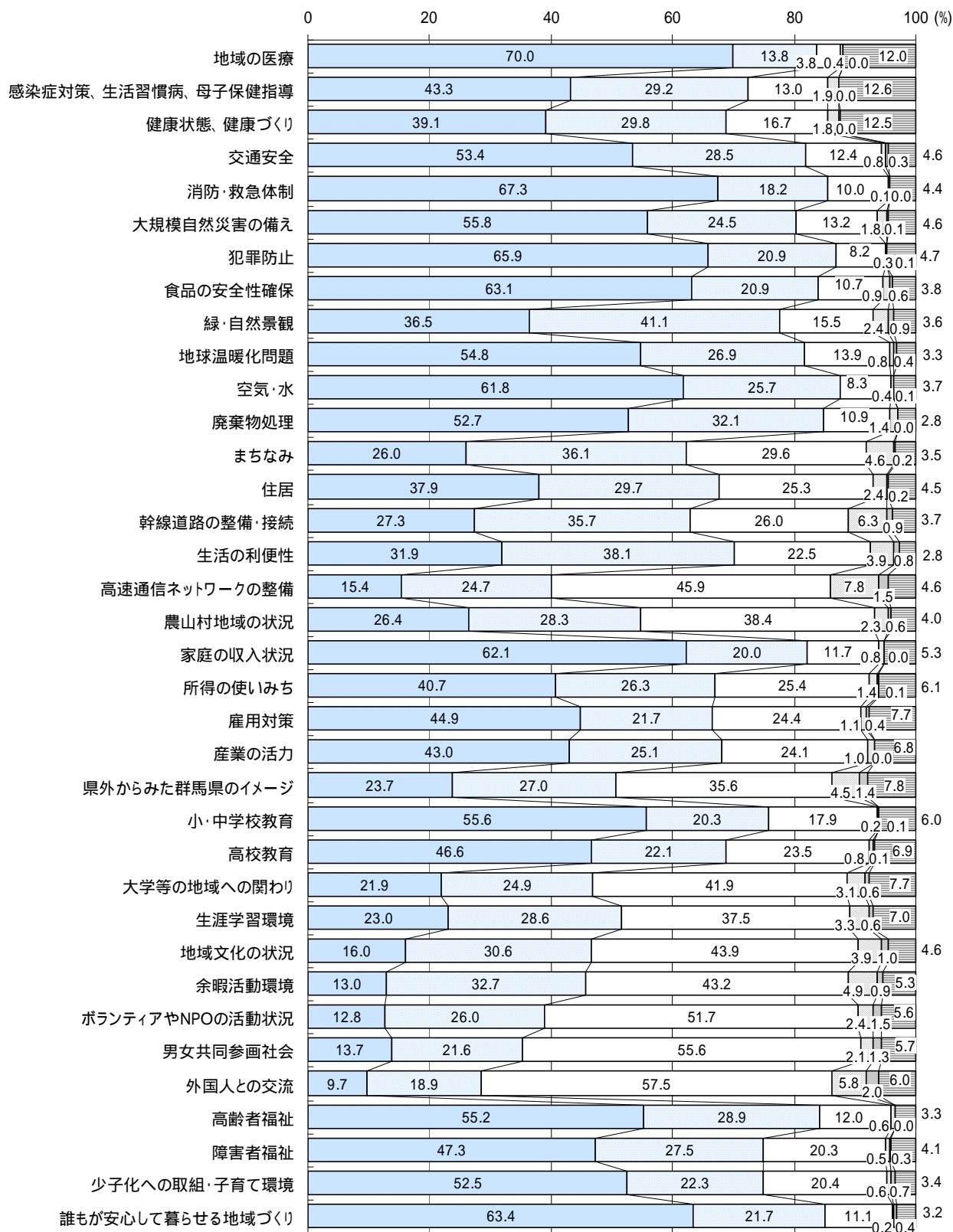
分 野	施 策 項 目
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療（病院、医師、救急医療体制など）</li> <li>・感染症対策、生活習慣病予防、母子保健指導</li> <li>・健康状態、健康づくり</li> </ul>
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全の取組み</li> <li>・消防・救急体制</li> <li>・地震・台風などによる大規模自然災害に対する備え</li> <li>・犯罪の防止など安心な社会づくり</li> <li>・食品の安全性確保</li> </ul>
環 境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の豊かさ、自然景観の美しさ</li> <li>・地球温暖化問題への対応</li> <li>・空気や水のきれいさ</li> <li>・廃棄物の処理（ごみの分別や減量化、資源のリサイクルなど）</li> </ul>
地域における住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在お住まいの地域のまちなみ</li> <li>・現在お住まいの住居</li> <li>・幹線道路（高速道路やバイパスなど）の整備や幹線道路までの接続</li> <li>・生活の利便性（買い物や鉄道・バスの状況）</li> <li>・高速通信ネットワーク（光ファイバーなど）の整備状況</li> <li>・人口減少が進んでいる農山村地域の状況</li> </ul>
産業・労働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭の収入状況（所得など）</li> <li>・ご家庭の所得の使いみち</li> <li>・雇用対策（就業機会の創出など）</li> <li>・群馬県の産業（農業・工業・商業）の活力</li> <li>・県外から見た群馬県のイメージ</li> </ul>
教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校における教育</li> <li>・高校における教育</li> <li>・大学等の地域への関わり</li> <li>・生涯学習環境（施設、内容）</li> </ul>
くらし・文化・余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざした文化の状況（活動、施設）</li> <li>・余暇活動環境（レクリエーション施設やスポーツ施設の整備状況など）</li> <li>・ボランティアやNPOなどの活動状況</li> <li>・男女共同参画社会</li> <li>・外国人との交流</li> </ul>
福 祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉の状況や取組み</li> <li>・障害者福祉の状況や取組み</li> <li>・少子化への取組みや子育て環境</li> <li>・高齢者や障害者、子どもなど誰もが安心して暮らせる地域づくり</li> </ul>

# 施策分野に対する満足・不満の状況



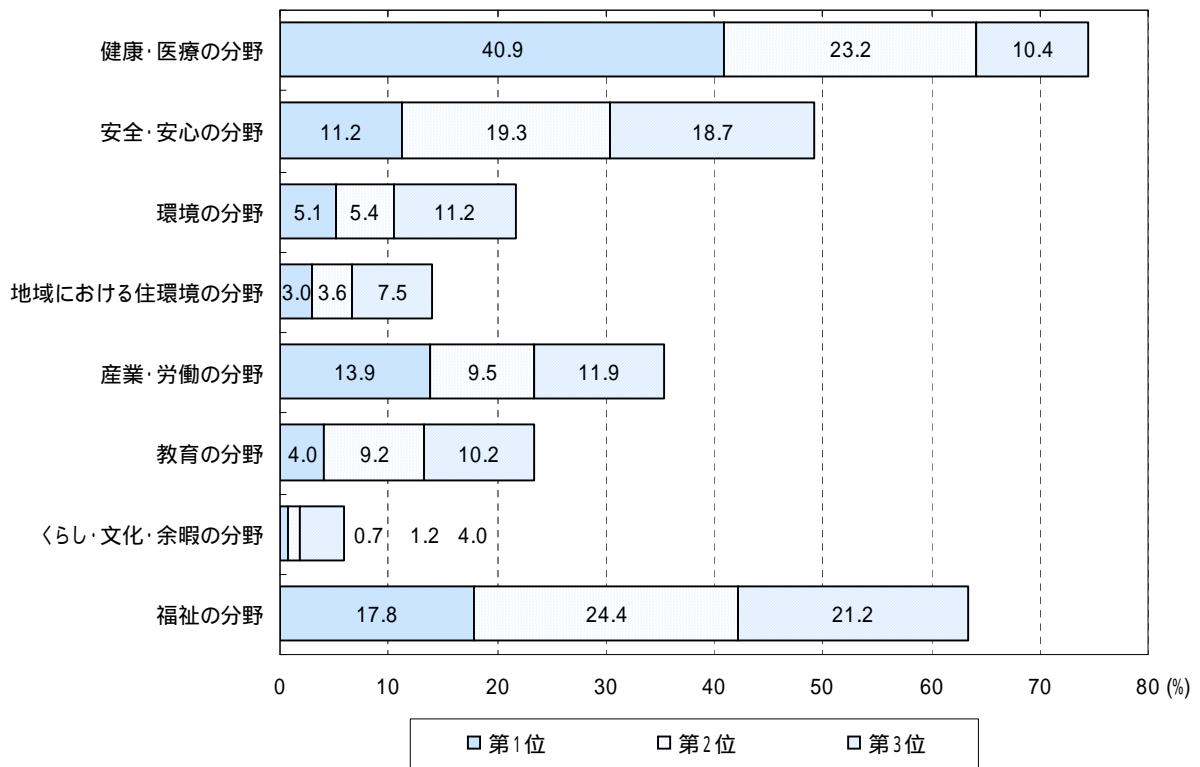
満足   
 やや満足   
 どちらともいえない   
 やや不満   
 不満   
 無回答

# 施策分野に対する重要度の状況

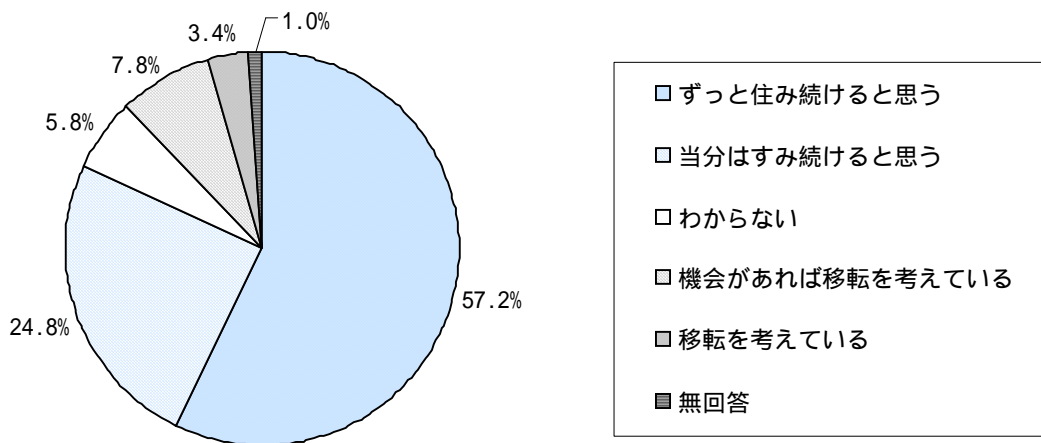


重要   
 やや重要   
 どちらともいえない   
 あまり重要ではない   
 全く重要ではない   
 無回答

( 3 ) 8分野のうち特に力を入れて欲しい分野



( 4 ) 定住意向



## 2 県民アンケート調査

### 調査の目的

新総合計画の策定にあたり、県の役割を明確化した上で限られた予算と人員を生かして5ヶ年以内で実施する具体的な施策を明らかにするため、重点的に検討すべき論点に絞って県民のニーズを把握する。

### 調査対象者及び調査方法等

調査対象者：群馬県在住の満18歳以上の男女

抽出方法：標本数を住民基本台帳に基づく各市町村人口で案分し、当該標本数を各市町村の住民基本台帳からの無作為抽出。

調査実施方法：郵送配布、留置、郵送回収

調査期間：平成21年12月1日～平成22年1月4日

### 回収結果

回収数（有効回収数）：1,582（補正後 1,236サンプル）（回収率：49.4%）

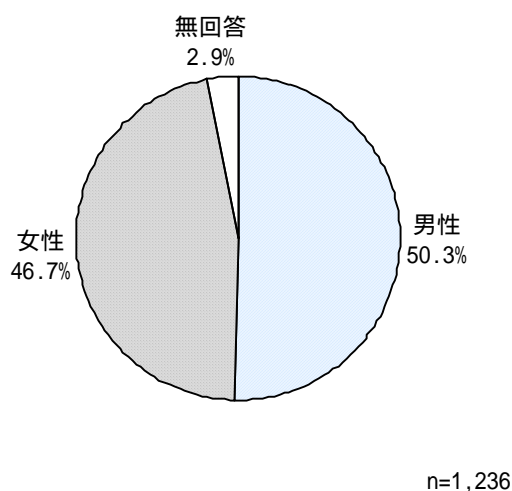
### 調査内容

- ・群馬県での生活の感想や群馬県の魅力について
- ・県民生活に関する今後の取組について
- ・今後の地域コミュニティの役割、あり方等について
- ・群馬県の現在及び目指すべき将来のイメージについて

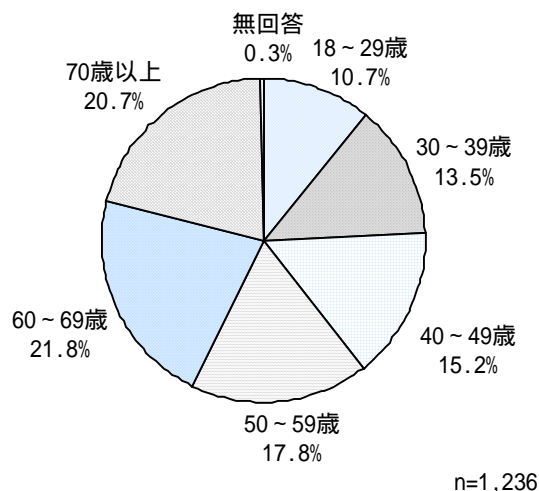
### 主な調査結果

#### (1) 回答者属性

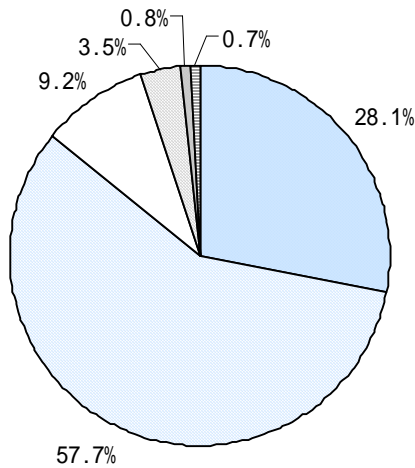
##### 性別



##### 年齢別

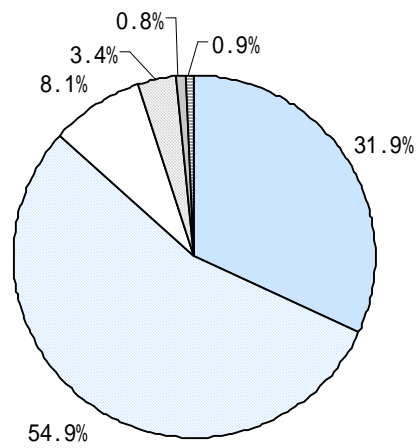


( 2 ) 群馬県の住みやすさ



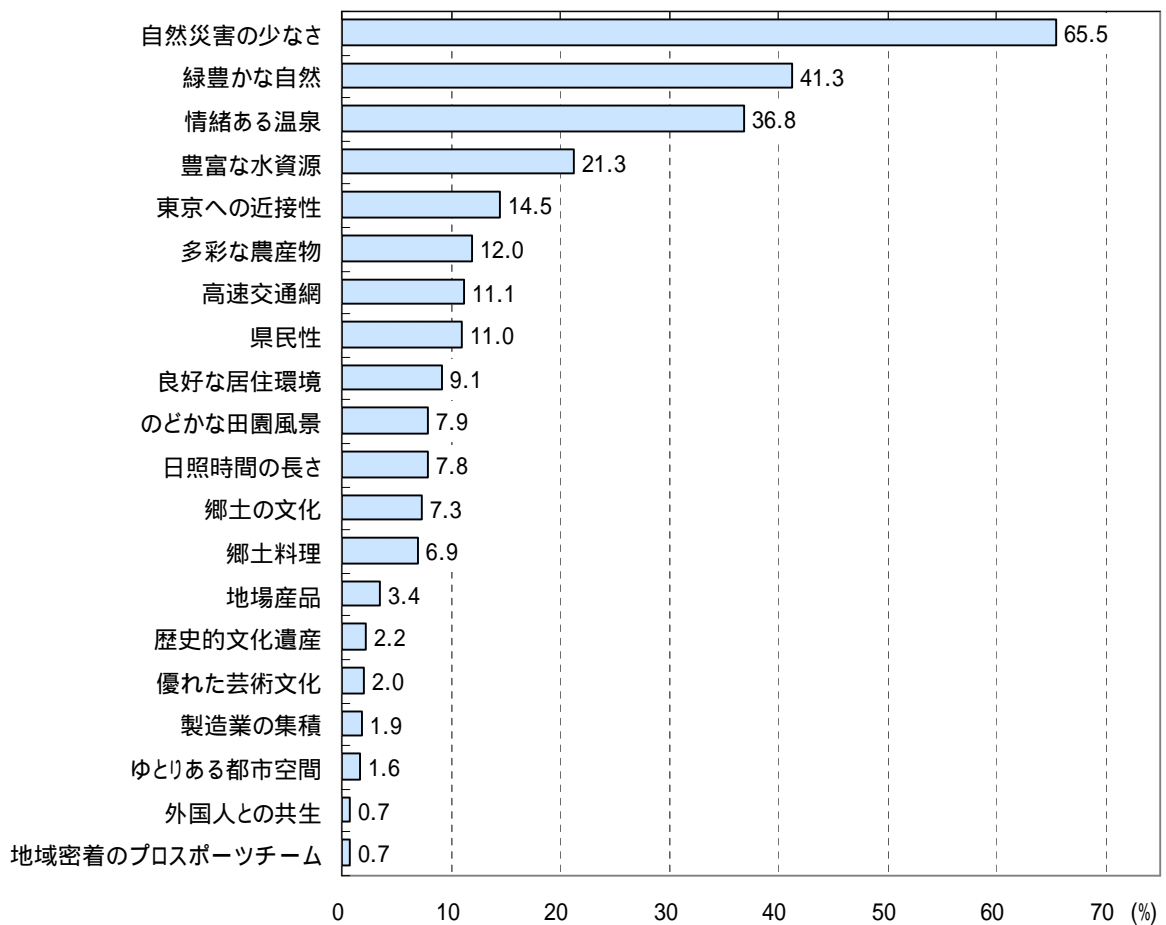
- とても住みやすい
- まあまあ住みやすい
- どちらともいえない
- あまり住みやすくない
- 住みにくい
- 無回答

( 3 ) 群馬県への愛着



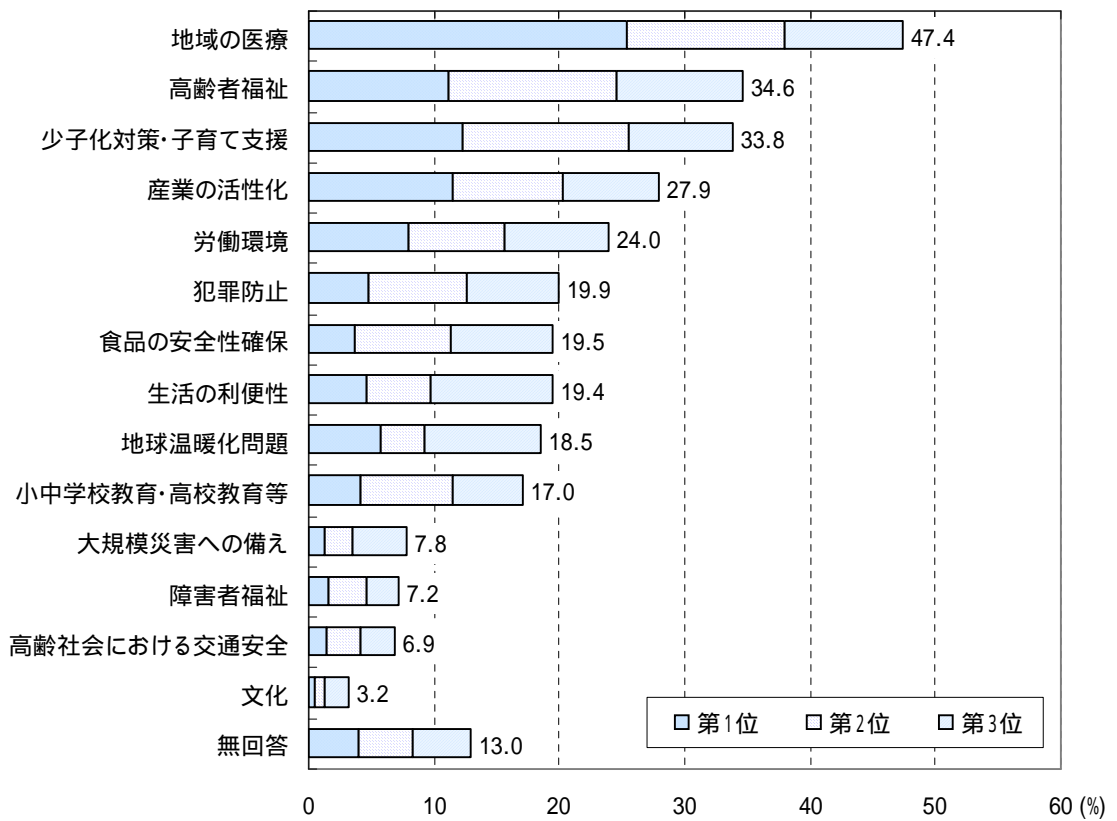
- 強く感じている
- まあまあ感じている
- どちらともいえない
- あまり感じていない
- 全く感じていない
- 無回答

( 4 ) 群馬県が自慢できること

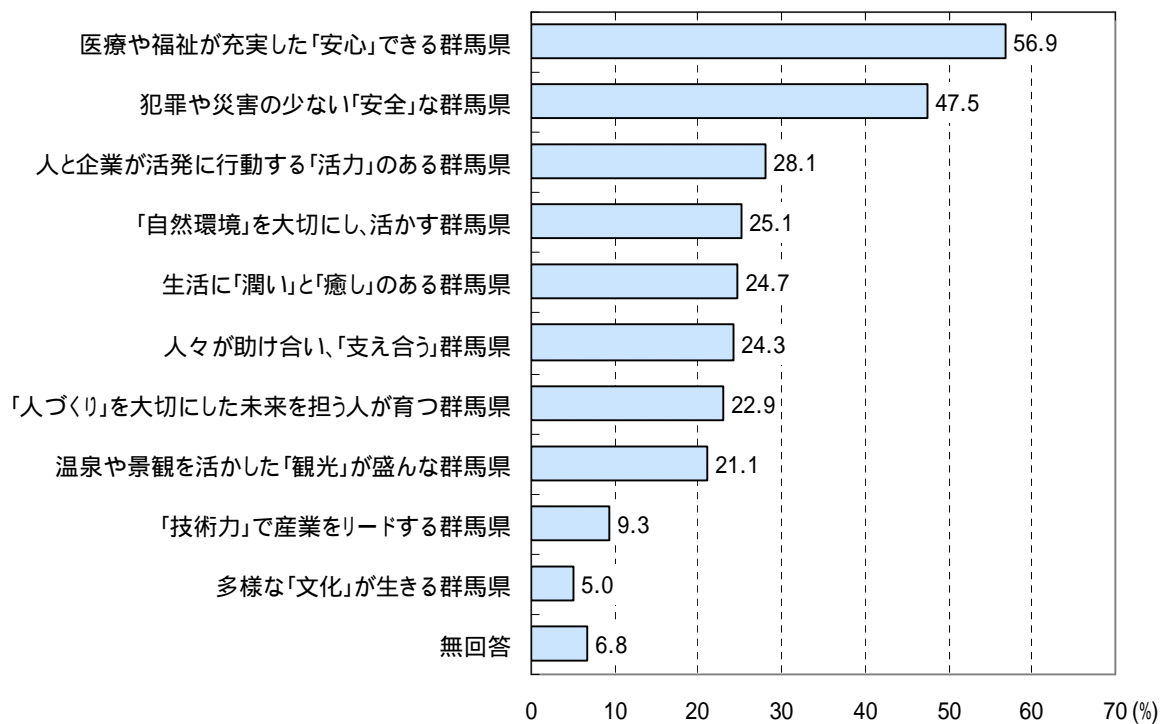




( 5 ) 特に重点的に取り組む政策テーマ



( 6 ) 10年後の群馬県に期待する姿



### 3 高校生アンケート調査

#### 調査の目的

将来を担う若者の考えを把握し、総合計画の検討に資するため高校生を対象にしたアンケート調査を実施した。

#### 調査対象者及び調査方法等

調査対象者：県内に在学する高校2年生

抽出方法：対象高校は、地域や学科、男女のバランスに配慮し35校（公立高校30校、私立高校5校）を選定

調査実施方法：対象高校に依頼

調査期間：平成22年1月中旬～2月上旬

#### 回収結果

回収数：1,285人

#### 調査項目

##### 県民アンケート調査と比較した項目

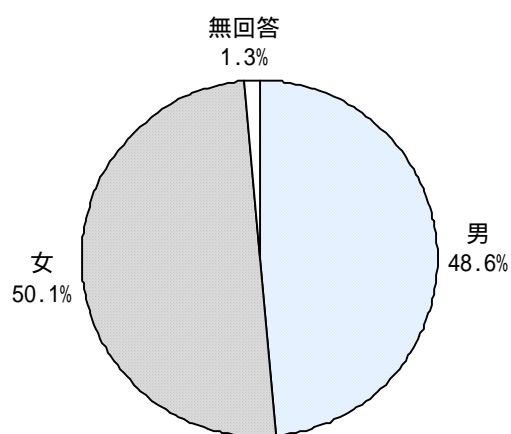
- ・群馬県の住みやすさ
- ・群馬県への愛着
- ・群馬県の魅力
- ・群馬県の自慢できるもの
- ・群馬県のイメージ
- ・将来の群馬県に期待する姿 など

##### 高校生の意識を把握するための項目

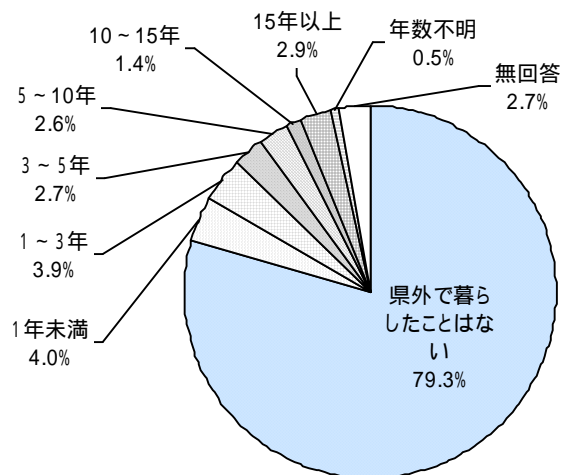
- ・将来の目標
- ・卒業後の進路
- ・群馬県定住の意向
- ・結婚観
- ・仕事を選ぶ基準
- ・仕事を選ぶために希望する機会
- ・悩みや不安、相談相手
- ・地域情報への関心
- ・群馬県が好きか嫌いかなど

#### 主な調査結果

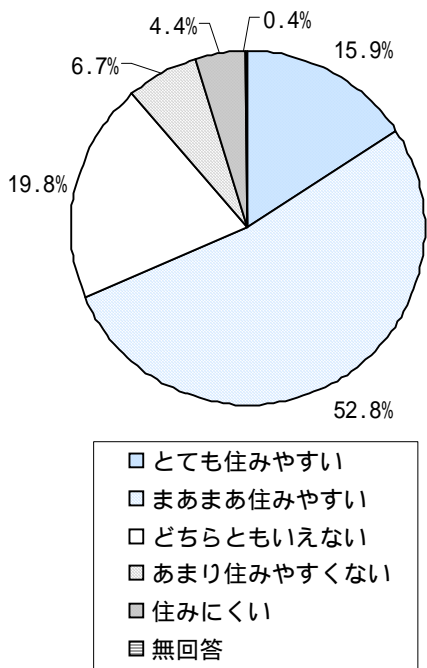
(1) 性別



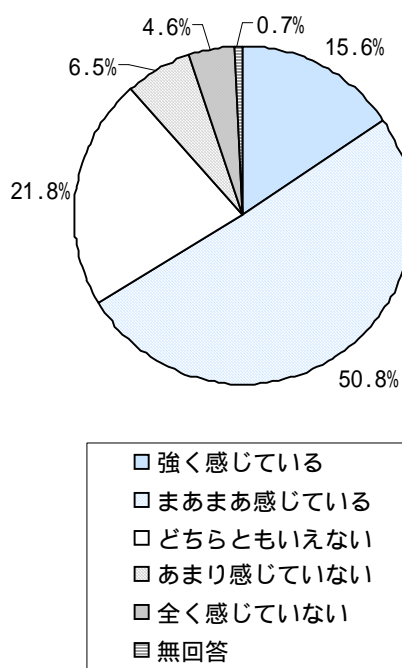
(2) 県外での生活経験



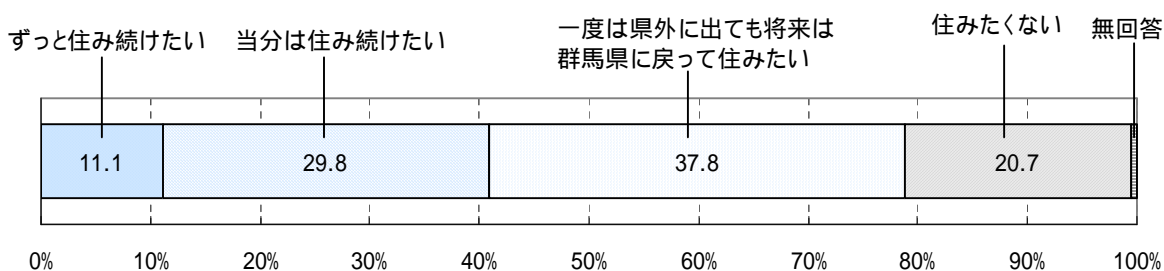
( 3 ) 群馬県の住みやすさ



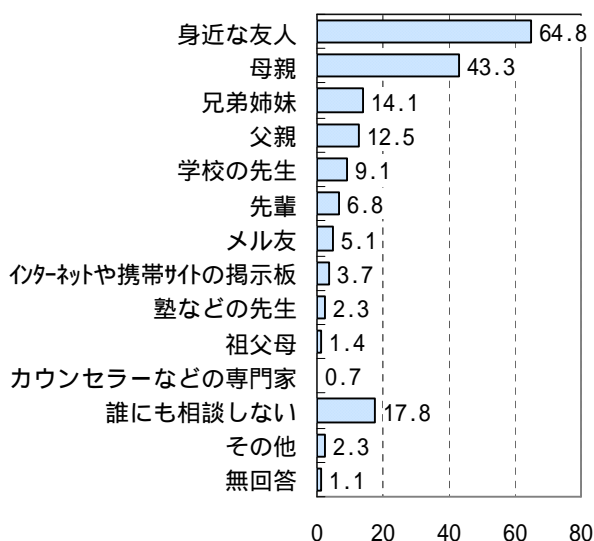
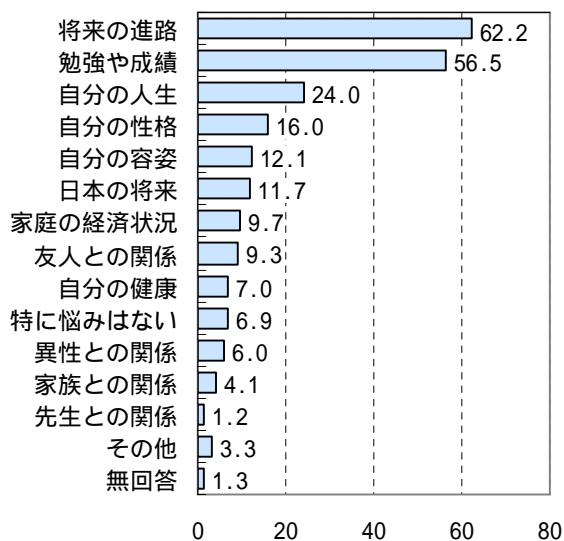
( 4 ) 群馬県への愛着



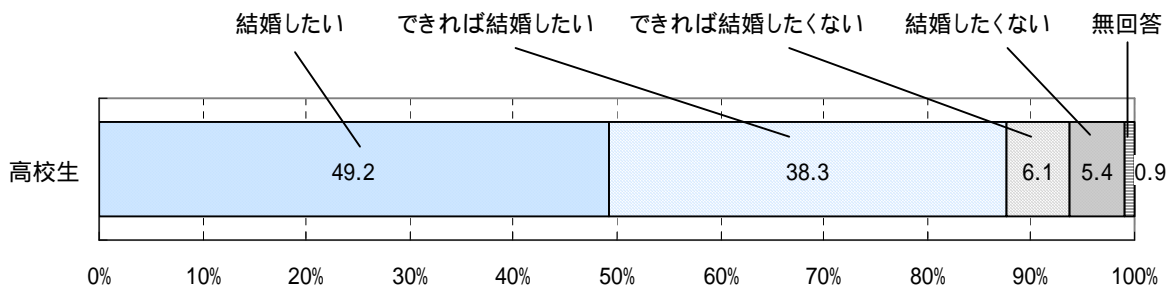
( 5 ) 将来の群馬県定住の意向



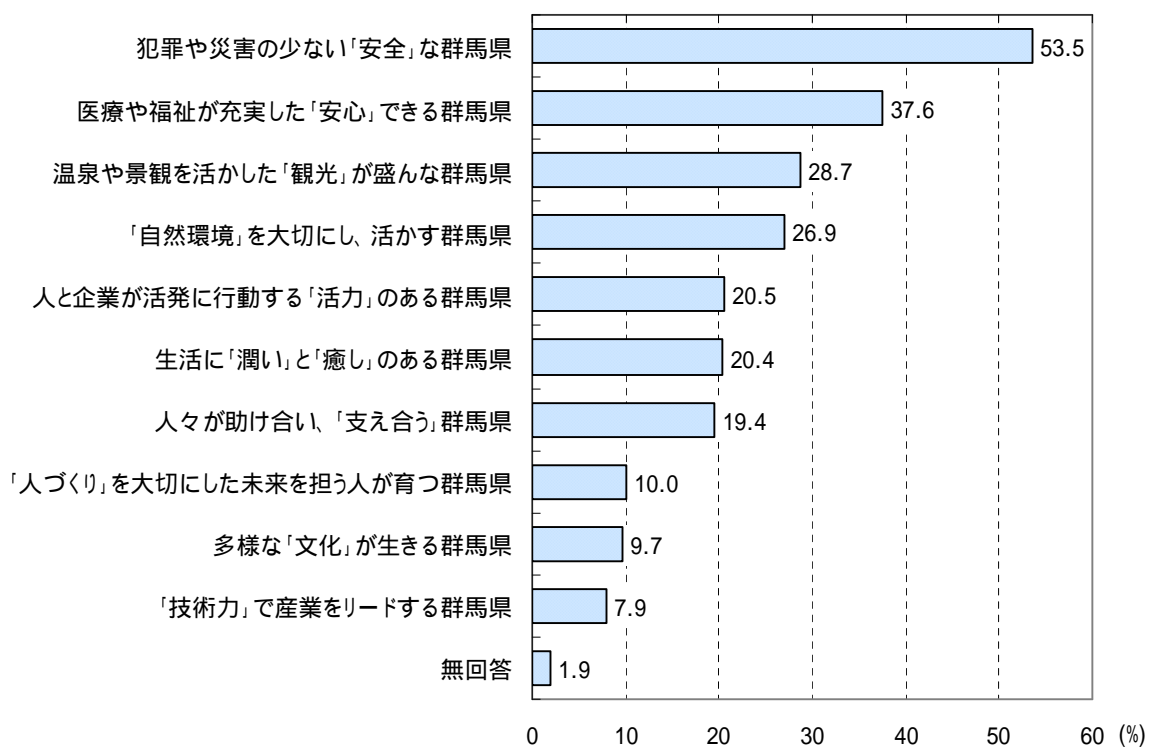
( 6 ) 現在抱える悩み・不安と相談相手



( 7 ) 結婚の意向



( 8 ) 10年後の群馬県に期待する姿



## 4 大学生アンケート調査

### 調査の目的

若者の就職に対する考えを把握し、総合計画の検討に資するため大学生を対象にしたアンケート調査を実施した。

### 調査対象者及び調査方法等

調査対象者：県内の大学及び短期大学在籍の学生（学年不問）

抽出方法：対象大学は、国公立や私立、学部のバランスに配慮し6校を選定（国公立大学3校、私立大学2校、短期大学1校）を選定

調査実施方法：対象大学に依頼

調査期間：平成22年6月下旬～7月上旬

### 回収結果

回収数：1,509人

### 調査項目

#### 高校生アンケート調査と比較した項目

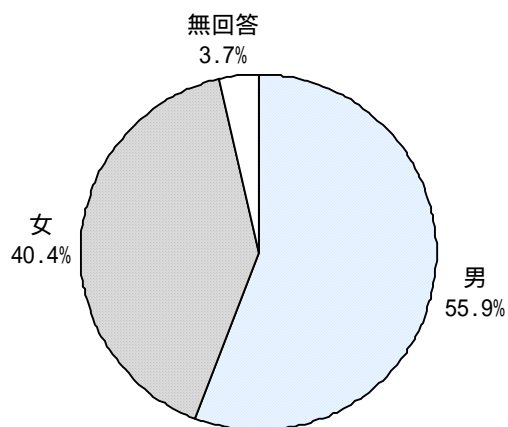
- ・結婚についての考え
- ・子ども的人数
- ・群馬県のイメージ
- ・将来の群馬県に期待する姿 など

#### 大学生の意識を把握するための項目

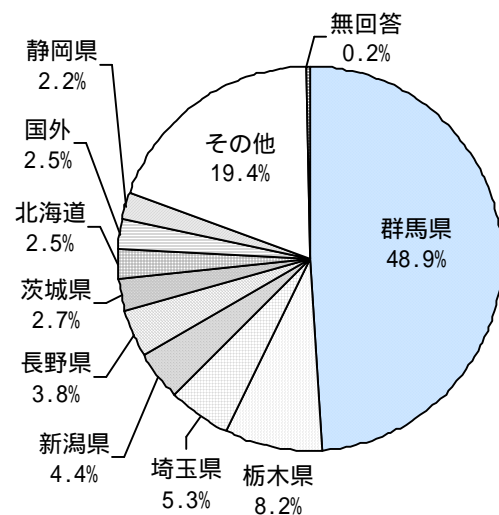
- ・志望職種、業種
- ・就職活動の情報源
- ・就職先を考えるとときに重視する点
- ・転職に対する意識
- ・県内就職に対する志向性
- ・就職先として考えている地域
- ・就職先の地域の規定要因
- ・群馬県の気に入っている点、良くなってほしい点 など

### 主な調査結果

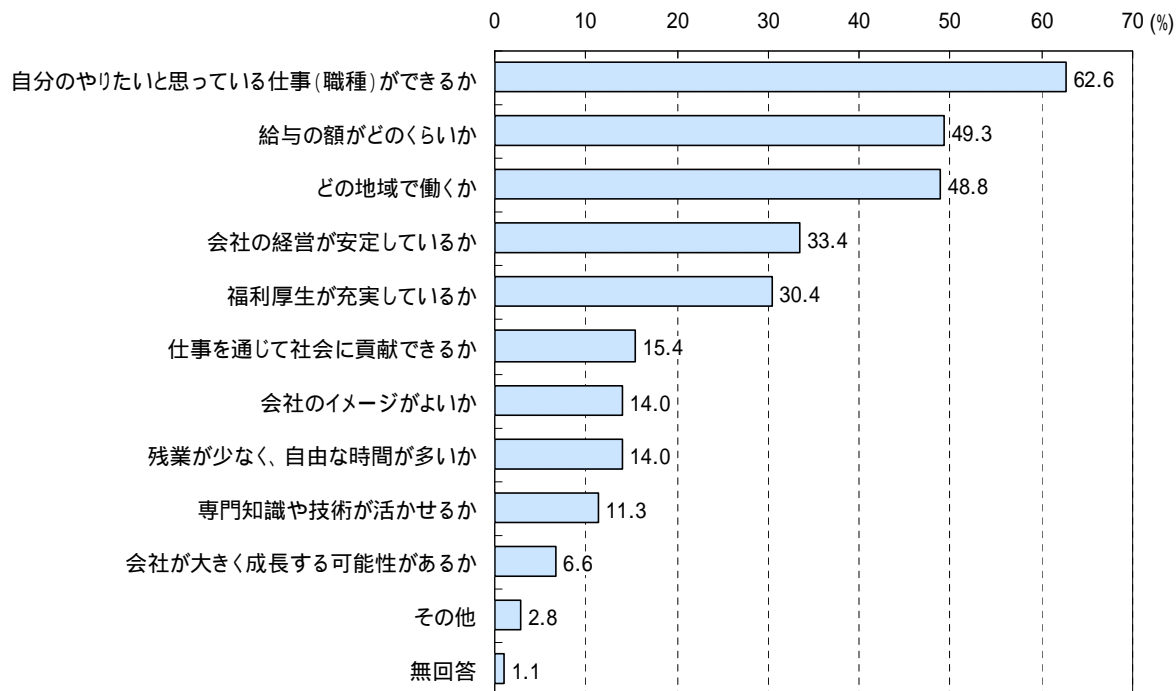
(1) 性別



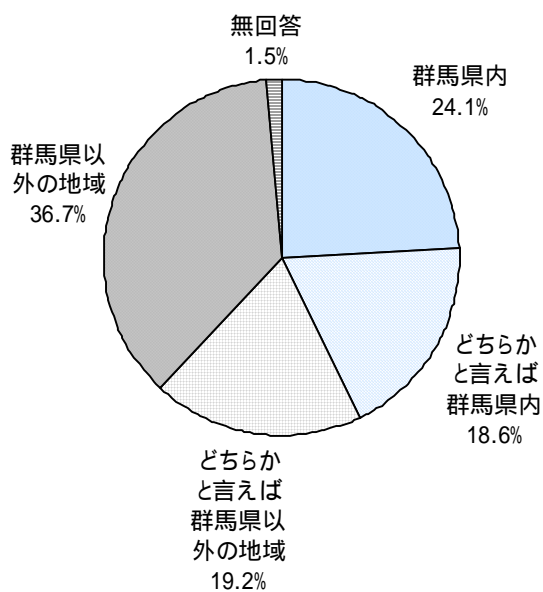
(2) 高校卒業時に住んでいた地域



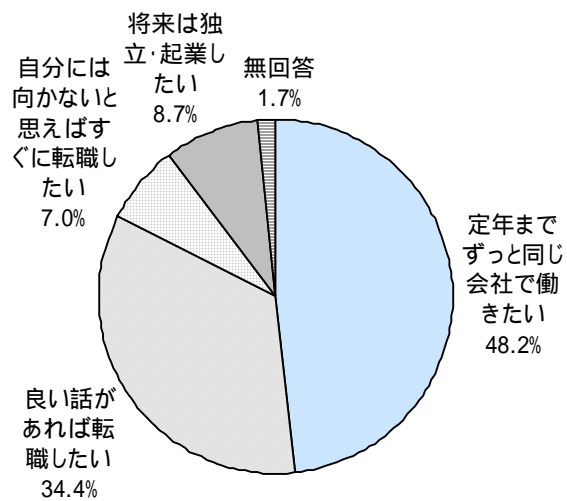
( 3 ) 就職先を選ぶときに重視する点



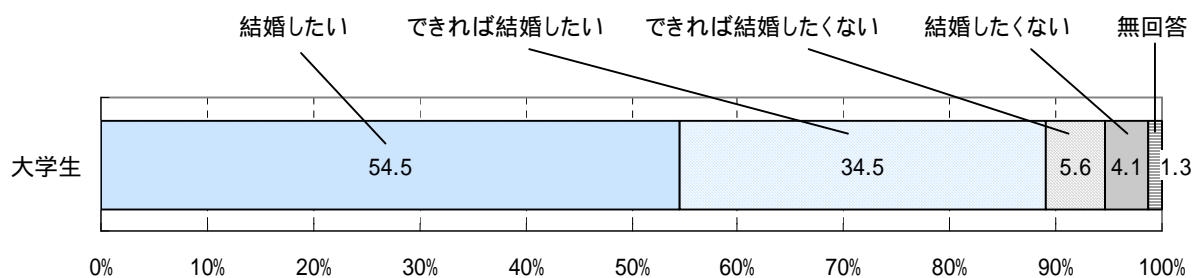
( 4 ) 県内就職への志向性



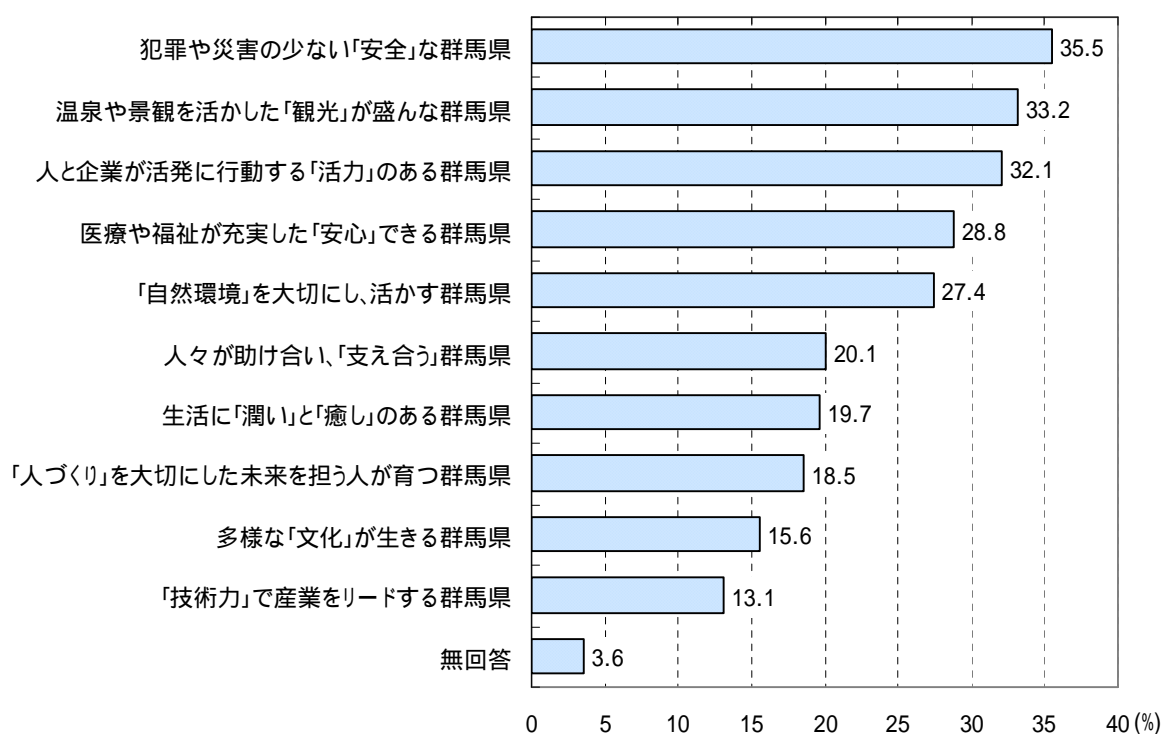
( 5 ) 転職に対する意識



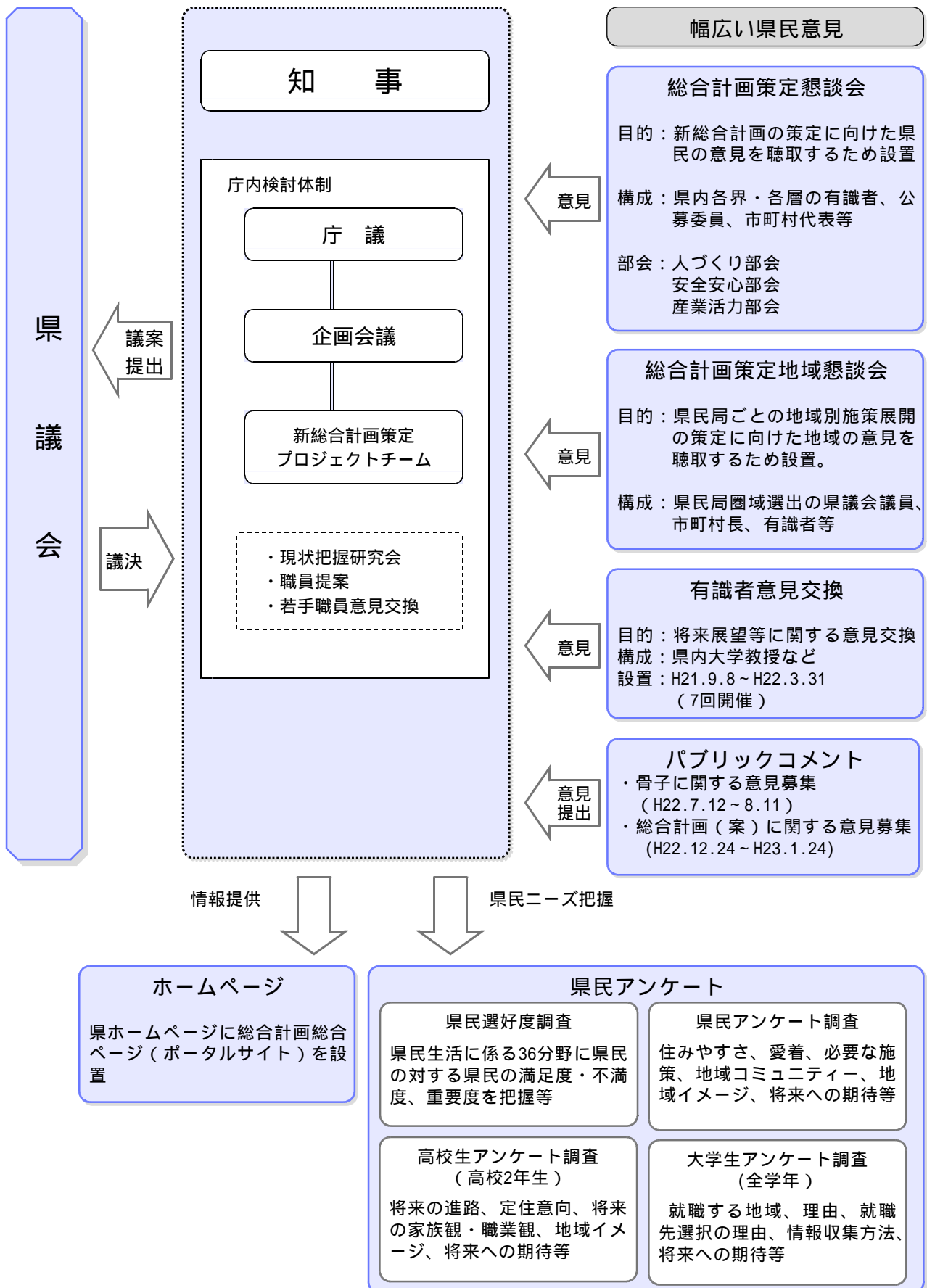
( 6 ) 結婚の意向



( 7 ) 10年後の群馬県に期待する姿



# 総合計画策定体制





## 1 群馬県議会総合計画に関する特別委員会

職 名	氏 名
委員長	南波 和憲
副委員長	橋爪 洋介
委員	中沢 丈一
委員	黒沢 孝行
委員	久保田 順一郎
委員	織田沢 俊幸
委員	福重 隆浩
委員	岩上 憲司
委員	大林 俊一
委員	茂木 英子
委員	井田 泉
委員	石川 貴夫

## 2 群馬県総合計画策定懇談会

### (1) 総合計画策定懇談会

会長、副会長

氏 名	所 属 ・ 役 職
青木 耕	群馬県区長自治会長連合会長
阿部 剛志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社副主任研究員
石倉 和子	社団法人群馬県看護協会会長
大河原 眞美	高崎経済大学大学院地域政策研究科長
太田 和雄	公募委員（NPO法人代表）
大橋 豊	日本労働組合総連合会群馬県連合会長（～H22.10.30）
北川 秀一	日本労働組合総連合会群馬県連合会長（H22.10.30～）
大宮 登	高崎経済大学副学長
奥木 功男	群馬県農業協同組合中央会長
金子 正元	群馬県中小企業団体中央会長
上村 和弘	財団法人群馬県消防協会副会長
國峯 潑子	群馬県くらしの会連絡協議会長
小池 隆介	公募委員（会社員）
児玉 三郎	社団法人群馬県経営者協会会長
権田 俊枝	公認会計士
櫻井 信治	公募委員（NPO法人代表）
柴山 卓也	日本銀行前橋支店長（～H22.9.21）
竹澤 秀樹	日本銀行前橋支店長（H22.9.21～）
関 夕三郎	弁護士
曾我 孝之	社団法人群馬県商工会議所連合会長
高田 邦昭	群馬大学長
宝田 恭之	群馬大学大学院工学研究科教授
田嶋 綾	公募委員（大学生）
田村 尚	一般社団法人群馬県介護福祉士会長
田村 亮一	財団法人群馬県観光国際協会理事長
樽見 千代子	群馬県民生委員児童委員協議会長（～H22.11.30）
梅澤 朋子	群馬県民生委員児童委員協議会長（H22.12.13～）
鶴谷 嘉武	社団法人群馬県医師会長

中村 京子	ぐんま地域活動連絡協議会長、群馬県女性団体連絡協議会長
二宮 茂明	一般財団法人群馬経済研究所代表理事
平田 郁美	共愛学園前橋国際大学長
平野勇パウロ	公募委員（個人事業主）
藤原 重紀	関東学園大学経済学部教授
星野 已喜雄	群馬県森林組合連合会代表理事会長
真塩 卓	群馬県町村会長
松浦 幸雄	群馬県市長会長
三宅 豊	群馬県教育委員会委員長（～H22.9.30） / 新島学園短期大学事務局長
宮下 智満	社会福祉法人群馬県社会福祉協議会長
向井 美代子	群馬NPO協議会長
結城 恵	群馬大学教育学部教授
横島 庄治	NPO法人環境システム研究会理事長
四方 浩	社団法人群馬県銀行協会会長

(2) 総合計画策定懇談会部会

人づくり部会

部会長

氏名	所属・役職
青木 耕	群馬県区長自治会長連合会長
太田 和雄	公募委員（NPO法人代表）
大宮 登	高崎経済大学副学長
金子 正元	群馬県中小企業団体中央会長
櫻井 信治	公募委員（NPO法人代表）
田嶋 綾	公募委員（大学生）
中村 京子	ぐんま地域活動連絡協議会長、群馬県女性団体連絡協議会長
平田 郁美	共愛学園前橋国際大学長
三宅 豊	群馬県教育委員会委員長（～H22.9.30） / 新島学園短期大学事務局長
向井 美代子	群馬NPO協議会長
結城 恵	群馬大学教育学部教授

安全安心部会

部会長

氏名	所属・役職
石倉 和子	社団法人群馬県看護協議会長
大河原 眞美	高崎経済大学大学院地域政策研究科長
上村 和弘	財団法人群馬県消防協会副会長
國峯 潑子	群馬県くらしの会連絡協議会長
関 夕三郎	弁護士
田村 尚	一般社団法人群馬県介護福祉士会長
樽見 千代子	群馬県民生委員児童委員協議会長
鶴谷 嘉武	社団法人群馬県医師会長
藤原 重紀	関東学園大学経済学部教授
宮下 智満	社会福祉法人群馬県社会福祉協議会長

産業活力部会

部会長

氏名	所属・役職
阿部 剛志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社副主任研究員
大橋 豊	日本労働組合総連合会群馬県連合会長
奥木 功男	群馬県農業協同組合中央会長
小池 隆介	公募委員（会社員）
児玉 三郎	社団法人群馬県経営者協会会長

権田 俊枝	公認会計士
柴山 卓也	日本銀行前橋支店長
曾我 孝之	社団法人群馬県商工会議所連合会長
宝田 恭之	群馬大学大学院工学研究科教授
田村 亮一	財団法人群馬県観光国際協会理事長
二宮 茂明	一般財団法人群馬経済研究所代表理事
平野勇パウロ	公募委員（個人事業主）
星野 已喜雄	群馬県森林組合連合会代表理事会長
横島 庄治	NPO法人環境システム研究会理事長
四方 浩	社団法人群馬県銀行協会長

名簿上の「所属・役職」欄は、各懇談会の最終開催日以降の変更は加味しておりません。

### 3 群馬県総合計画策定地域懇談会

#### (1) 中部地域懇談会

##### 前橋地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
高木 政夫	前橋市長
中村 紀雄	県議会議員
早川 昌枝	県議会議員
中沢 丈一	県議会議員
山本 龍	県議会議員
狩野 浩志	県議会議員
岩上 憲司	県議会議員
水野 俊雄	県議会議員
後藤 新	県議会議員
阿部 淑美	大胡地区子どもわくわく活動実行委員長
石田 稔	社団法人前橋市医師会長
梅澤 朋子	社会福祉法人前橋市社会福祉協議会長
小野里 照美	日本労働組合総連合会群馬県連合会前橋地域協議会議長
塩原 一男	赤城山観光連盟会長
角田 雄二	前橋市自治会連合会長
奈良 力男	富士見商工会長
前原 良男	前橋市農業協同組合代表理事組合長
丸山 和貴	前橋市教育委員会委員長
湯沢 昭	前橋市立前橋工科大学教授
養田 雅香	前橋商工会議所専務理事

##### 渋川地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
阿久津 貞司	渋川市長
真塩 卓	榛東村長
石関 昭	吉岡町長
真下 誠治	県議会議員
星名 建市	県議会議員
大林 俊一	県議会議員
大澤 歳男	渋川市自治会連合会長
大森 隆博	社団法人伊香保温泉観光協会長

狩野 美喜子	渋川市赤城地区民生委員児童委員協議会主任児童委員
亀井 勝男	北群渋川農業協同組合代表理事組合長
高井 淳	社団法人渋川地区医師会長
寺島 順一	渋川商工会議所会頭
中野 八重子	渋川広域農村女性ネットワーク会長
中村 亮典	渋川市北橘商工会長
羽鳥 宏一	日本労働組合総連合会群馬県連合会渋川地域協議会議長
福田 英作	吉岡町自治会連合会長
森田 孝二郎	社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会長
森田 陽美	榛東村区長会長
湯浅 武	榛東村教育委員会委員長

伊勢崎地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
五十嵐 清隆	伊勢崎市長
貫井 孝道	玉村町長
田島 雄一	県議会議員
原 富夫	県議会議員
塚越 紀一	県議会議員
久保田 務	県議会議員
井田 泉	県議会議員
井下 泰伸	伊勢崎商工会議所常議員
石原 順一	群馬伊勢崎商工会長
井田 克敬	玉村町区長会長
栗原 龍雄	社団法人伊勢崎佐波医師会長
小林 良江	群馬県立女子大学教授
塩野 信敏	伊勢崎市区長会長
杉原 みち子	街づくり市民ゼミナル代表
関根 勇	社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会長
月田 和子	玉村町教育委員会委員長
長岡 武	佐波伊勢崎農業協同組合代表理事組合長
松本 博	伊勢崎市国際交流協会会長
渡辺 聡	日本労働組合総連合会群馬県連合会伊勢崎地域協議会議長

(2) 西部地域懇談会

高崎安中地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
松浦 幸雄	高崎市長
岡田 義弘	安中市長
関根 囃男	県議会議員
岩井 均	県議会議員
平田 英勝	県議会議員
中島 篤	県議会議員
福重 隆浩	県議会議員
橋爪 洋介	県議会議員
茂木 英子	県議会議員
後藤 克己	県議会議員
石川 貴夫	県議会議員
天田 尚二郎	財団法人群馬県消防協会高崎市等広域支部長

石井 清一	烏川流域森林組合代表理事組合長
井田 宗男	高崎市農業協同組合代表理事組合長
市川 平治	新島学園中学校・高等学校長
上原 又樹	碓氷川森林組合代表理事組合長
釜范 敏	社団法人高崎市医師会長
高橋 基治	社団法人群馬県建設業協会高崎支部長
武井 宏	安中市商工会長
竹中 三郎	高崎市区长会長
田島 勲	安中市区长会長
豊泉 正子	高崎市教育委員会委員長（～H22.9.30）
古川 雅子	高崎市教育委員会委員長（H22.10.1～）
中島 博明	碓氷安中農業協同組合代表理事組合長
中島 英明	社会福祉法人高崎市社会福祉協議会長
中村 晴美	群馬県商工会女性部連合会副会長
庭野 倭子	安中市婦人団体連絡協議会副会長
原 浩一郎	高崎商工会議所会頭
藤巻 公子	健康ネットワーク青空会
峰岸 正船	社団法人群馬県建設業協会安中支部長
森澤 隆	はぐくみ農業協同組合代表理事理事長
梁瀬 多恵子	高崎市青少年補導員協議会副会長
横山 芳房	高崎市防犯協会理事長（H22.8.20～）

#### 多野藤岡地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
新井 利明	藤岡市長
神田 強平	上野村長
宮前 鍬十郎	神流町長
新井 雅博	県議会議員
関口 茂樹	県議会議員
角倉 邦良	県議会議員
新井 和子	多野東部森林組合代表理事組合長
新井 紀義	多野藤岡農業協同組合代表理事理事長
梅澤 徹	藤岡商工会議所会頭
折茂 京子	多野藤岡農村生活アドバイザーの会副会長
倉林 克彦	藤岡市区长会副会長
櫻井 清司	上野村商工会長
櫻井 智子	藤岡市教育委員会委員長（～H22.9.30）
岩崎 哲	藤岡市教育委員会委員長（H22.10.1～）
鈴木 和美	財団法人群馬県消防協会多野藤岡支部長
関口 貴久	社団法人藤岡青年会議所理事長
塚越 巖	社団法人群馬県建設業協会藤岡支部長
水井 勝久	社会福祉法人藤岡市社会福祉協議会長
茂木 佳世子	神流町婦人会長
山崎 恒彦	社団法人藤岡多野医師会副会長

#### 富岡甘楽地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
岡野 光利	富岡市長
金井 康行	下仁田町長
市川 宣夫	南牧村長

茂原 莊一	甘楽町長
織田沢 俊幸	県議会議員
今井 哲	県議会議員
青木 伊三郎	甘楽富岡農業協同組合代表理事組合長
青柳 ふじ	富岡市婦人会連合会長
新井 義宏	社会福祉法人富岡市社会福祉協議会長
岩井 重夫	社団法人群馬県建設業協会富岡支部長
植村 昭男	富岡市区長会長
笠原 道也	上信電鉄株式会社代表取締役社長
小井土 登喜司	下仁田町森林組合代表理事組合長
佐保 一夫	財団法人群馬県消防協会富岡甘楽支部長
須藤 京子	富岡市くらしの会会長
田口 基	富岡商工会議所会頭
田中 宏一	甘楽町民生委員児童委員協議会長
保阪 茂文	社団法人富岡市甘楽郡医師会長
茂木 文子	なんもくかあちゃん本舗会長
守田 宣彦	富岡市教育委員会委員長

( 3 ) 吾妻地域懇談会

氏 名	所 属 ・ 役 職
入内島 道隆	中之条町長
高山 欣也	長野原町長
熊川 栄	嬭恋村長
黒岩 信忠	草津町長
荒木 毅	高山村長
中澤 恒喜	東吾妻町長
南波 和憲	県議会議員
萩原 涉	県議会議員
唐澤 脩一郎	あがつま農業協同組合理事長
関 とく江	あがつま農村女性会議会長
田島 郁文	社団法人吾妻郡医師会長
谷川 猛	吾妻郡町村教育委員会連絡協議会長
田村 徹	吾妻観光連盟会長
戸部 一男	吾妻地区商工会連絡協議会長
永井 勉	吾妻郡老人クラブ連合会長
中澤 宏衛	吾妻森林組合代表理事副組合長
山田 力夫	中之条町区長会役員連絡協議会長

( 4 ) 利根沼田地域懇談会

氏 名	所 属 ・ 役 職
星野 已喜雄	沼田市長
布施 辰二郎	沼田市議会議員
千明 金造	片品村長
入澤 登喜夫	片品村議会議員
関 清	川場村長
星野 善平	川場村議会議員
加藤 秀光	昭和村長
金子 松二郎	昭和村議会議員

岸 良昌	みなかみ町長
久保 秀雄	みなかみ町議会議長
小野里 光敏	群馬県議会議員
金子 浩隆	群馬県議会議員
安藤 純吉	沼田商工会議所会頭（～H22.10.31）
横山 公一	沼田商工会議所会頭（H22.11.1～）
板橋 芳郎	利根沼田市町村教育委員会教育長会議代表
入澤 与志男	財団法人群馬県消防協会利根沼田支部長
大樽 宣宗	利根沼田森林組合長会副会長
金井 敬司	社団法人沼田法人会長
小林 一郎	利根沼田地区地域安全活動推進協議会長
小林 敏夫	利根沼田自然を愛する会会長
小林 信広	沼田市小中学校PTA連合会長
小林 由喜子	利根沼田生活研究グループ連絡協議会長
澁谷 典子	群馬県食生活改善推進員連絡協議会沼田支部長
島田 民夫	利根郡社会教育委員会連絡協議会長
嶋本 暢一	利根沼田農業協同組合代表理事組合長
白井 豊	社団法人沼田利根医師会長
杉木 寿一	社団法人群馬県建設業協会沼田支部支部長代行
須藤 温	ググっとぐんま観光宣伝推進協議会利根沼田地域部会長
原澤 玲子	利根沼田ブロック商工会女性部長
星野 寛	利根沼田地区スキー場広報宣伝協議会長
峯川 卓美	利根郡信用金庫理事長
宮崎 嘉久	社会福祉法人沼田市社会福祉協議会長
山田 元幸	沼田市区長会長
吉野 賢治	利根沼田公衆衛生協会会長

(5) 東部地域懇談会

太田・桐生・みどり地区

氏 名	所 属 ・ 役 職
亀山 豊文	桐生市長
清水 聖義	太田市長
石原 条	みどり市長
腰塚 誠	群馬県議会議員
黒沢 孝行	群馬県議会議員
金田 克次	群馬県議会議員
須藤 昭男	群馬県議会議員
大沢 幸一	群馬県議会議員
村岡 隆村	群馬県議会議員
笹川 博義	群馬県議会議員
あべ ともよ	群馬県議会議員
相澤 邦衛	社会福祉法人太田市社会福祉協議会長
青山 正敏	桐生みどり地区商工会連絡協議会長（笠懸町商工会長）
板橋 英之	群馬大学工学部長
片亀 昌子	太田市食生活改善推進員連絡協議会長
菊地 浅美	太田市農業協同組合代表理事組合長
北川 洋	社団法人桐生市医師会長
木戸 英价	みどり市区長会長

佐藤 富三	桐生商工会議所会頭
佐羽 宏之	2015年の公共交通をつくる会会長
正田 寛	太田商工会議所会頭
鈴木 正三	桐生市教育委員会委員長
鈴木 武信	太田市防犯協会会長
関根 誠吉	太田市区長会長
津久井 弘	桐生市区長連絡協議会長
橋場 正和	群馬みどり農業協同組合代表理事組合長
三ツ橋 淳子	NPO法人地球温暖化防止ぐんま県民会議理事

邑楽・館林地区

氏名	所属・役職
安楽岡 一雄	館林市長
栗原 実	板倉町長
恩田 久	明和町長
大谷 直之	千代田町長
斉藤 直身	大泉町長
金子 正一	邑楽町長
松本 耕司	県議会議員
久保田 順一郎	県議会議員
塚原 仁	県議会議員
館野 英一	県議会議員
須藤 和臣	県議会議員
井野口 錦二	社会福祉法人館林市社会福祉協議会長
遠藤 牧子	千代田町教育委員会教育委員長
小野 哲夫	館林市区長協議会長
小池 清	邑楽館林農業協同組合代表理事組合長
河本 榮一	館林商工会議所会頭
後藤 達範	社団法人館林市邑楽郡医師会長
立川 博康	邑楽郡町村会事務局長
田辺 陸夫	東洋大学板倉事務部長
中繁 基	邑楽町商工会長
野村 永雄	大泉町元区長
山岸 秀男	社会福祉法人板倉町社会福祉協議会長

名簿上の「所属・役職」欄は、各懇談会の最終開催日以降の変更は加味しておりません。

4 群馬県新総合計画策定のための有識者意見交換

印：座長

氏名	所属・役職
阿部 剛志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社副主任研究員
大宮 登	高崎経済大学地域政策学部教授副学長
尾崎 幸男	財団法人電力中央研究所赤城試験センター所長
加藤 尚	株式会社ワークエントリー代表取締役社長
金子 正元	株式会社キンセイ産業代表取締役社長
櫻井 丘子	株式会社磯部ガーデン代表取締役社長
宝田 恭之	群馬大学教授大学院工学研究科環境プロセス専攻科長
土屋 和子	株式会社パリッシュ出版代表取締役社長
寺石 雅英	群馬大学社会情報学部教授



山崎 久美子	山崎酒造株式会社専務取締役
横島 庄治	NPO法人環境システム研究会理事長
吉原 秀忠	株式会社吉原代表取締役社長

上記のほか、次の方々から直接、ご意見をお伺いしました。

氏 名	所 属 ・ 役 職
池田 光男	株式会社池田製作所代表取締役社長
酒巻 哲夫	群馬大学医学部附属病院医療情報部部長・教授
坂本 正堂	坂本工業株式会社代表取締役社長
町田 久	株式会社渋川製作所代表取締役社長

名簿上の「所属・役職」欄は、各懇談会の最終開催日以降の変更は加味しておりません。

## 5 群馬県企画会議

主宰者

部 局	職 名
総 務 部	総務課長 財政課長
企 画 部	企画部長 企画部副部長(H22) 企画課長 企画課政策主監(H21) 総合政策室長(H22) 広報課長
生活文化部	県民生活課長
健康福祉部	健康福祉課長
環境森林部	環境政策課長
農 政 部	農政課長
産業経済部	産業政策課長
県土整備部	監理課長
会 計 局	会計課長
議会事務局	総務課長
企 業 局	総務課長
病 院 局	総務課長
教育委員会	総務課長
警 察 本 部	警務部警務課長(H21) 警務部総務企画課長(H22)
県 民 局	中部県民局中部行政事務所長 西部県民局西部行政事務所長 吾妻県民局吾妻行政事務所長 利根沼田県民局利根沼田行政事務所長 東部県民局東部行政事務所長

群馬県企画会議新総合計画策定プロジェクトチーム

H22主宰者、 H21主宰者

部 局	職 名
総 務 部	総務課企画予算係長 財政課予算編成係長
企 画 部	企画課長 企画課政策主監(H21) 企画課総合計画係長 総合政策室総合政策係長(H22)
生活文化部	県民生活課企画予算係長
健康福祉部	健康福祉課企画予算係長
環境森林部	環境政策課環境企画係長
農 政 部	農政課企画調整係長
産業経済部	産業政策課企画調整係長
県土整備部	監理課建設政策室政策係長
会 計 局	会計課企画推進係長
企 業 局	総務課経営企画係長
病 院 局	総務課病院改革係長
教育委員会	総務課企画予算係長
警 察 本 部	警務部警務課企画第二係長(H21) 警務部総務企画課企画第二係長(H22)
県 民 局	中部県民局中部行政事務所企画振興係長 西部県民局西部行政事務所企画振興係長 吾妻県民局吾妻行政事務所企画振興係長 利根沼田県民局利根沼田行政事務所企画振興係長 東部県民局東部行政事務所企画振興係長

## 策定経過

### 1 平成20年度

平成21年 1月16日～ 2月2日	県民選好度調査
-------------------------	---------

### 2 平成21年度

平成21年 7月 8日	企画会議に現状把握研究会を設置 (全体会議1回分科会のべ13回開催平成21年度未終了)
9月 8日	有識者意見交換(第1回)
10月26日	有識者意見交換(第2回)
10月28日	企画会議(新総合計画策定プロジェクトチーム設置について)
11月 4日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第1回)
12月1日～ 1月4日	県民アンケート調査
11月16日	有識者意見交換(第3回)
12月17日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第2回)
12月21日	有識者意見交換(第4回)
平成22年 1月～2月	高校生アンケート調査
1月25日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第3回) 有識者意見交換(第5回)
2月17日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第4回)
2月19日	有識者意見交換(第6回)
3月19日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第5回)
3月24日	企画会議(骨子案について)
3月26日	有識者意見交換(第7回)

### 3 平成22年度

平成22年 4月22日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第6回)
5月12日～ 6月 4日	総合計画策定懇談会公募委員募集
5月26日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第7回)
6月22日	邑楽・館林地区(県議、市町村長)
6月24日	吾妻地域懇談会(第1回)
6月25日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第8回)
6月29日	総合計画策定懇談会(第1回)
7月	大学生アンケート調査
7月15日	西部地域懇談会(高崎安中地区)(第1回)
7月16日	西部地域懇談会(多野藤岡地区)(第1回) 東部地域懇談会(太田・桐生・みどり地区)(第1回)
7月20日	利根沼田地域懇談会(第1回)
7月22日	中部地域懇談会(前橋地区)(第1回) 西部地域懇談会(富岡甘楽地区)(第1回)
7月12日～ 8月11日	総合計画の骨子等に関する意見募集
7月27日	新総合計画策定プロジェクトチーム(第9回) 総合計画策定懇談会産業活力部会(第1回)

7月28日	中部地域懇談会（伊勢崎地区）（第1回） 企画会議（重点プロジェクト検討方針について）
7月29日	総合計画策定懇談会人づくり部会（第1回） 中部地域懇談会（渋川地区）（第1回）
7月30日	総合計画策定懇談会安全安心部会（第1回） 吾妻地域懇談会（第2回）
8月	新総合計画策定に関する若手職員の意見交換会
8月11日	企画会議（施策展開の方向について）
8月19日	東部地域懇談会（邑楽・館林地区：有識者）（第1回）
8月～9月中旬	新総合計画に関する職員提案募集
9月1日	総合計画策定懇談会産業活力部会（第2回） 総合計画策定懇談会安全安心部会（第2回） 吾妻地域懇談会（第3回）
9月2日	総合計画策定懇談会人づくり部会（第2回）
9月6日	新総合計画策定プロジェクトチーム（第10回）
9月14日	総合計画策定懇談会（第2回）
9月15日	西部地域懇談会（高崎安中地区）（第2回） 中部地域懇談会（伊勢崎地区）（第2回）
9月16日	西部地域懇談会（多野藤岡地区）（第2回）
9月17日	中部地域懇談会（前橋地区）（第2回）
9月21日	西部地域懇談会（富岡甘楽地区）（第2回）
10月1日	中部地域懇談会（渋川地区）（第2回）
10月6日	利根沼田地域懇談会（第2回）
10月20日	県議会に総合計画に関する特別委員会設置
10月25日	東部地域懇談会（太田・桐生・みどり地区）（第2回）
10月26日	東部地域懇談会（邑楽・館林地区）（第2回）
10月28日	新総合計画策定プロジェクトチーム（第11回）
11月8日	吾妻地域懇談会（第4回）
11月12日	新総合計画策定プロジェクトチーム（第12回）
11月15日	県議会総合計画に関する特別委員会
11月16日	総合計画策定懇談会（第3回）
11月17日	県議会総合計画に関する特別委員会
11月18日	県議会総合計画に関する特別委員会
11月19日～ 12月10日	総合計画（素案）に関する県内市町村への意見照会
11月22日	新総合計画策定プロジェクトチーム（第13回） 中部地域懇談会（3地区合同）（第3回）
11月24日	西部地域懇談会（多野藤岡地区）（第3回） 利根沼田地域懇談会（第3回）
11月26日	西部地域懇談会（高崎安中地区）（第3回） 西部地域懇談会（富岡甘楽地区）（第3回）
12月8日	県議会総合計画に関する特別委員会
12月24日～ 平成23年 1月24日	総合計画（案）に関する意見募集
1月26日	企画会議（総合計画策定地域懇談会の委員意見について）
2月1日	総合計画策定懇談会（第4回）
2月16日	県議会に計画案を議案として提出
3月4日	県議会総合計画に関する特別委員会
3月10日	県議会において議案のとおり可決
3月15日	第14次群馬県総合計画策定

## 用語解説

### あ行

#### ICT

Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術を表す言葉。

#### アナログ関連産業

電気機器・自動車・ロボットなどの開発等を支える、高周波回路技術、集積回路技術などのアナログ回路技術をベースとする産業。

#### アプト式鉄道

機関車に付いた歯車と線路の間に敷いたラックレール（歯軌条）をかみ合わせて、急勾配を上る方式。安中市と長野県軽井沢の間にある碓氷峠の急勾配を克服するため信越本線にアプト式が導入された。

#### イノベーション

革新、刷新。特に技術革新のこと。

#### インバウンド

外国人旅行者を自国へ誘客すること。

#### エコ通勤

マイカー通勤から電車やバス、自転車、徒歩など環境にやさしい通勤へ転換すること。

#### エコツーリズム

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み。

#### エコドライブ

環境に配慮した運転方法のこと。消費燃料を節減する運転手法のほか、「タイヤの空気圧を適正に保つ」など車両管理までを対象とした、自動車利用に関する総合的な手法により、燃料消費による二酸化炭素の排出を削減する。

#### NPO

Non Profit Organizationの略で、非営利組織を表す。民間、一般市民によって自主的に構成された、政府・行政・企業とは一線を画する営利を目的としない組織で、特に特定非営利活動促進法（NPO法）に基づき設立された組織を「NPO法人」という。

#### 遠隔医療支援画像診断システム

情報通信機器やインターネットを活用して、X線画像等を遠隔地の医療機関等に伝送し、専門医の助言による適切な対応を可能にするシステム。

### か行

#### カーボンニュートラル

植物を原料とするものを燃やすとCO<sub>2</sub>が発生するが、そのCO<sub>2</sub>はその植物が成長するときに吸収した量と同じであるため、排出されるCO<sub>2</sub>の量は差し引きゼロ（増加しない）とする考え方。

#### 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）

2006年に、シンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4カ国加盟で発効した経済連携協定。加盟国間の経済制度（サービス、人の移動、基準認証など）に於ける整合性を図り、貿易関税については例外品目を認めない形の関税撤廃をめざしている。2011年2月現在、アメリカ、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアの5カ国を加えた計9カ国で交渉中。

#### 基礎的財政収支

県の財政状況を示す指標の一つ。県債（借入金）を除いた歳入と、過去の借金の元利払いを除く歳出を比較するもの。赤字であれば、将来の借金負担が増大する方向にあることになる。黒字であれば、その年の県民生活に必要な支出を借金に頼らずにその年の税収などで賄えている状態であることになる。

算出式は（歳入 - 県債） - （歳出 - 公債費）。群馬県の平成23年度当初予算は480億円の黒字で、平成13年度以降黒字を継続している。（臨時財政対策債を含めた基礎的財政収支は、16億円の黒字。）

#### 臨時財政対策債とは

地方交付税の不足を補うものとして、国から地方公共団体に発行が割り当てられ、償還費が後年度の地方交付税で措置される県債（借入金）。実質的な地方交付税とされている。

#### 絹産業遺産

絹産業は、桑を育て、蚕を飼い、繭をつくる「養蚕」、繭から生糸をつくる「製糸」、生糸を染め、織り、反物に仕上げる「織物」の三業が一連のシステムとして成り立っており、絹産業遺産はこれに関する一連の文化遺産のこと。

#### 基盤技術産業

自動車や情報家電などの最終製品を支える、金型、プラスチック加工、切削加工、プラスチック成形など、ものづくりの「基盤技術」に関する産業。

## QOL

Quality Of Lifeの略で、和訳では「生活の質」。生活者自身が感じる満足感・安定感・幸福感などを尺度としてとらえる概念。

## グリーンツーリズム

緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

## ぐんま大使

群馬県の知名度やイメージを向上させるために、本県出身のタレント等を「ぐんま大使」に任命し、全国に向け魅力を発信するもの。2008年12月10日に、中山秀征さん（藤岡市出身）と井森美幸さん（下仁田町出身）が「ぐんま大使」に就任。

## 刑法犯認知件数

警察において、被害の届出若しくは告訴・告発又はその他（被疑者の取調べ等）の端緒により、その犯罪の発生を認知した事件の数をいう。

## ゲートキーパー

自殺の危険を示すサインに気づき適切な対応を図ることができる役割を担う人材。

## 県債残高

県の借入金の残高。家計で言えば住宅ローン残高にあたるもの。県債は、地方公共団体が主に学校や道路などの施設をつくる時に行う長期借入金のこと、一度に多額のお金が必要になった場合にお金を借りて工事代金などを支払い、その後、何年かにわたって計画的に返済をしていく手段。完成した施設等は長期間に渡り利用するものが多く、県債によって次の世代の人たちにも返済を負担していただくという意味もある。

平成23年度の一般会計予算ベース県債残高見込は、7,455億円。（臨時財政対策債を含めた残高は、1兆951億円。臨時財政対策債の説明は、P.183の「基礎的財政収支」を参照。）

## 建設汚泥

掘削工事から生じる泥状の掘削物および泥水のうち、廃棄物処理法に規定する産業廃棄物として取り扱われるもの。

## 光化学オキシダント

自動車や工場などから排出された大気汚染物質が、太陽光線（主として紫外線）を受けて化学反応（光化学反応という）を起こしてできる酸化性物質の総称。その95%以上がオゾンであり、しばしば同義語として用いられる。高濃度では、目や喉の痛みを引き起こしたり、植物のへ悪影響を及ぼしたりする。

## 高次脳機能障害

交通事故や脳血管性疾患などにより脳に生じた後遺症で、記憶障害や注意障害といった認知障害や、

社会的な行動障害などをきたすもの。

## 国際物流拠点

国際港湾、国際空港、内陸通関施設など集荷・配送・保管・通関・物流管理等の機能を持ち、海外との貿易を行う上で物流の中核を担う施設のこと。

## 国際分業

各国が所有する生産上の適性を生かし、もっとも適合した商品の生産に専門化（国際的特化という）すること。

## コンベンション

会議、集会、大会のこと。

## さ行

### 再生可能エネルギー

太陽光、風力、太陽熱、バイオマス、水力等の利用しても比較的短期間に再生可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。

### 産学官連携

企業（産）が、大学等の学術機関（学）や行政機関等（官）と連携して、新製品の開発や新事業の創出を図ることを指す。

### 市場化テスト

国や自治体が提供する公共サービスについて、官と民との間で競争入札を実施し、質・価格の両面で最も優れた者が、そのサービスの提供を担う仕組み。

### 若年性認知症

65歳未満で発症する認知症の総称。

### 住宅セーフティネット

住宅市場の中で独力では住宅を確保する事が困難な人々が、それぞれの所得、家族構成、身体状況等に適した住宅を確保できるような仕組み。

### 集約型都市構造

都市圏内の一定の地域を集約拠点（都市を構成する居住、公共施設、事務所、商業等の集積を促進する拠点）として位置付け、それぞれの集約拠点間を公共交通等により連携させる都市構造。

### 重要犯罪・重要窃盗犯

重要犯罪とは、殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつの各罪種、重要窃盗犯とは、窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりの各手口をいう。

### 集落営農

集落など地縁的にまとまりのある一定の地域内の農家が農業生産を共同して行う営農活動のこと。農地の効率的利用や機械の共同利用、担い手を中心となった生産から販売までの共同化など、地域の実情



に応じてその形態や取組内容は多様。

### 紹介・逆紹介

紹介は、高度で専門的な診断・治療を行うため、診療所や病院から患者の紹介を受けること。逆紹介は、紹介患者の治療が終了したり、症状が安定した後に、原則として紹介元の診療所や病院へ紹介し、そこで治療を継続すること。

### 食育

食品の安全性への不安や、生活習慣病の増加などを背景に、様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てること。

### 森林施業プランナー

個々人の所有する森林をまとめて、作業路網の整備や間伐などの作業計画をつくる技術者。

### スクールカウンセラー

学校で児童や生徒のいじめや不登校などの生活上の問題や悩みの相談に応じる臨床心理士などの専門家。

### ストックマネジメント手法

施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、その既存施設（ストック）の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減するための技術体系及び管理手法。

### ストロー化現象

交通インフラの整備により、地方の活力が大都市圏に吸い上げられてしまう現象。

### スマートインターチェンジ

高速道路本線やサービスエリア・パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように、ETC搭載車の利用に限定したインターチェンジ。

### 3R

「リデュース（Reduce：ごみの量を減らすこと）」、「リユース（Reuse：使ったものを再使用すること）」、「リサイクル（Recycle：資源として再生利用すること）」の頭文字を取って3Rという。

### 制度融資

各地方自治体が設けている事業資金等の融資制度のこと。

### 生物多様性

たくさんの種類の生物がお互いに関係し合いながら、多種多様な環境の中で様々な生態系を保っていること。生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性という3つのレベルでの多様性がある。

### 世界遺産

1972年のユネスコ（国際連合教育科学文化機関）総会で採択された「世界の文化遺産および自然遺産の保護に関する条約」（世界遺産条約）に基づいて登録された文化・自然遺産のこと。

### 施業団地

間伐などの作業を効率的に行うため、個々人の所有する森林を面的にまとめた区域。

### 総合型地域スポーツクラブ

地域住民が自主的に運営するクラブであり、日常的なスポーツ活動やスポーツ教室など複数の種目を楽しむことができ、年齢・体力・技術などに応じて活動できる地域コミュニティの場。

## た行

### 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと。

### 多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の一員として、その個性と能力を發揮し、共に生きること。

### 団塊の世代

作家・堺屋太一氏の著書から生まれた言葉で、昭和22年から24年の第一次ベビーブーム時代に生まれた世代をいう。

### 地域高規格道路

高規格幹線道路（高速道路）を補完し、高速交通体系を築き、地域相互の交流促進・連携強化を図る質の高い道路。サービス速度は、路線全体として概ね60km/hを確保。

### 低炭素社会

CO<sub>2</sub>の排出が少ない社会のこと。化石燃料を燃やして大量のCO<sub>2</sub>を排出する社会から、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進等により、CO<sub>2</sub>の排出を最小化する社会システムを目指す。

### DV

Domestic Violence（ドメスティック・バイオレンス）の略で、配偶者（内縁関係にある者を含む）やパートナー等の親密な関係にある者から受けるあらゆる暴力のこと。

## な行

### ニート

Not in Education, Employment or Trainingの頭文字（NEET）による造語。日本においては、15歳以上35歳未満の無業者のうち、求職活動、職業訓練、通学、結婚のいずれもしていない人をいう。

### 2次交通

複数の交通機関等を使用する場合の、2種類目の交通機関のこと。主には、鉄道駅から観光地などへ赴くための交通機関である路線バスや自転車などをいう。

### 日本風景街道

行政や住民団体等が協働して、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした風景の形成や観光振興、地域活性化への寄与を目的として活動する道路およびその沿道。

### ニューツーリズム

明確な定義はないが、一般的にテーマ性が強く、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行を指す。テーマとしては産業観光、エコツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム等が挙げられる。

### 農業生産工程管理（GAP）

農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。（GAP：Good Agricultural Practice）

### ノーマライゼーション

障害のある人もない人も、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマル（あたりまえ）であるという考え方。

### ノンステップバス

出入口の段差を解消し、乗降を容易にしたバス。

## は行

### バイオマス

家畜排せつ物や生ゴミ、木くずなどの動植物から生まれた再生可能な有機性資源のこと。固体燃料、液体燃料、気体燃料に変え、再生可能なエネルギーとして利用することができる。

### パブリシティ

PR活動のひとつで、マスメディアに対して積極的に観光や地域の情報などを提供し、報道されるよう働きかけること。

### バリアフリー

障害のある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを取り除くこと。段差等の物理的なバリアだけでなく、より広く障害者の社会参加を困難にしている制度的なバリア、文化・情報面でのバリア、意識上のバリアなどすべてのバリアを取り除くという意味でも用いられる。

### PFI

Private Finance Initiativeの略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

### BOD水質環境基準

河川の水質に適用される環境基準（水質環境基準）は、カドミウム・シアンなどの「人の健康の保護に関する項目」と、pH・BODなどの「生活環境の保全に関する項目」に大別される。このうちBODとは、水中の微生物が水中の汚濁物（有機物）を分解するときに消費する酸素の量（単位はmg/l）で、水の汚濁の程度を示し、数値が大きいほど水が汚れていることになる。また、水質環境基準のうち「生活環境の保全に関する項目」については、河川の利水目的に応じて、水域ごとに望ましい環境基準値を類型として定めている。このため、水域により、達成すべき環境基準値が異っており、一般的に、河川の上流域にはより厳しい環境基準値が設定されている。

### PCB廃棄物

PCB（ポリ塩化ビフェニル）を含む油又はPCBが付着、封入された物が廃棄物となったもので、絶縁油として使用されているトランス、コンデンサ、安定器等の電気機器が代表的なものである。PCBは、絶縁性、不燃性などの特性により、かつては、トランス、コンデンサといった電気機器をはじめ幅広い用途に使用されていたが、昭和43年にカネミ油症事件が発生するなど、その毒性が社会問題化したことから、我が国では昭和49年以降、製造や新たな使用は禁止されている。

### PDCAサイクル

計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、見直し(Act)のプロセスを順に実施し、次の計画に結び付け、継続的に業務改善等を推進する運営手法。

### ヒヤリ・ハット事例

日常の診療過程で患者に被害を及ぼすことはないが、医療従事者がヒヤリとしたり、ハットとしたりした事例。

### フィルムコミッション

映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関。



## フリーター

フリーターとは、15歳以上35歳未満の学生・主婦でない人のうち、パート・アルバイト・派遣などで働いている人及び働く意思のある無職の人を指す。そのうち25歳以上のフリーターを「年長フリーター」と定義している。

## ま行

### マンパワー

人力。人的資源。労働力。

### 名目GDP

名目国内総生産。国内総生産（GDP）は、国（地域）内の生産活動による財貨・サービスの産出から原材料などの中間投入を控除した付加価値の総計であり、物価変動の影響を調整している数値を実質GDP、調整していない数値を名目GDPという。なお、本文の比較はUSドル換算によるものであり、平成22年は内閣府国民経済計算統計第2次速報値（平成23年3月10日公表）による。

### メカトロ

メカトロニクス（メカトロ）は、機械工学（メカニクス）と電子工学（エレクトロニクス）を合わせた造語。機械装置にコンピュータ等を導入し、高性能化・自動化・省力化を図る学問・技術分野。

### モビリティマネジメント

「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと利用者一人一人の意識と行動を少しずつ変えていく一連の取組。

## や行

### Uターン・Iターン

Uターンは、出身地以外の地域で就学・就職した人が出身地に帰り就職すること、Iターンは、出身地とは全く関係ない地域で就職することを指す。

### ユニバーサルデザイン

年齢、性別、身体、国籍など、人々が持つさまざまな特性や違いを認め合い、できるだけすべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した、環境、建物・施設、製品等のデザインをしようとする考え方。

## ら行

### ライフサイクルコスト

製品や構造物などの費用を、調達・製造～使用～廃棄の段階をトータルして考えたもの。訳語として生涯費用ともよばれる。施設や構造物などの場合、建設費用から始まり、維持管理費用、耐用年数の経過により廃棄（解体処分）するまでに要する費用。

### ライフライン

電気・ガス・水道、通信設備、交通網など、人々が日常生活を送る上で必須の社会基盤をいう。

### リスクコミュニケーション

消費者、生産者、事業者、研究者、行政などの全ての関係者の間で、リスクに関する情報や意見を相互に交換すること。関係者の相互理解と協力によって、リスク管理（安全性確保対策等）を有効に機能させることができる。

### ループ式トンネル

区間の距離が短く、標高差が大きいとき、らせん状に線路を敷いて勾配を緩くする方法を用いたトンネル。上越線の清水トンネルで導入された。

### レアメタル

産出量が少ない希少金属で、自動車、IT製品等の製造に不可欠な素材をいう。

### レッドデータブック

絶滅のおそれのある野生動植物種の現況を明らかにして、それらを守る対策づくりのための基礎資料のこと。

## わ行

### ワークライフバランス

仕事と生活の調和。老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態を指す。

### ワンストップサービス

様々な手続きや相談等を、一箇所の窓口で受け付け、完結させられるように設計されたサービスのこと。

# はばたけ群馬プラン

第14次群馬県総合計画



---

平成23年3月

群馬県

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1番1号

TEL 027(223)1111 (代表)

ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>

---